

# 長佐古杯争奪

## 第41回ジュニアチャンピオン大会 Bulletin3(プログラム)

期日 2024年4月21日(日) 雨天決行・荒天中止  
場所 東京都青梅市・埼玉県飯能市  
会場 青梅市今井市民センター



主催 多摩オリエンテーリングクラブ  
後援 東京都オリエンテーリング協会  
協賛 OLG奥武蔵野 (小笠原揚太郎氏)  
O-Ajari (田島利佳氏)  
O-Support (小泉成行氏)  
アールビーズ  
協力 青梅レクリエーション研究会

大会ホームページ <http://www.orienteing.com/~tama/jc/jc41/index.html>

### タイムテーブル

8:30 駐車場オープン  
9:00 会場オープン・受付開始  
10:00 スタート開始  
12:30 スタート閉鎖  
12:30 新歓クラススタート開始  
14:00 新歓クラススタート閉鎖  
13:30頃 表彰式  
15:00 フィニッシュ閉鎖  
16:00 会場閉鎖(行事終了次第)

### 目次

ご挨拶	p.2
交通案内	p.2
会場案内	p.3
競技に関する情報	p.5
競技の流れ	p.8
緊急対応事項	p.10
歴代チャンピオン一覧	p.11
長佐古杯について	p.12
競技に関する一般的な注意事項	p.13

## ご挨拶

大会実行委員長 平木 達也

ジュニアチャンピオン大会に参加申いただき誠にありがとうございます。今回は新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初めての大会ということで、数年ぶりに初心者説明コーナーを再開するなど、コロナ禍以前の姿に戻りつつあります。また、例年要望のあった初心者向けのグループクラスを、今回初めて設けております。

自分もかつて中高生オリエンティアとしてJME入賞を目指して励んでいたもので、今回はじめて実行委員長として、ジュニアが主役の本大会を運営できること嬉しく思います。一般の方を含め、参加される皆さんには七国峠のトレインを存分に楽しんでいただければ幸いです。今回も地元の皆様や協賛の皆様の多大なるご理解・ご協力をいただいております。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

## 交通案内

### バス利用の場合

西武池袋線「入間市」駅、もしくは、JR青梅線「河辺」駅北口から西武バス：「今井市民センター前」下車すぐ。

JR青梅線「小作」駅東口、もしくは、JR青梅線「河辺」駅北口から西東京バス：「七日市場」下車徒歩600m(7分)。

### バス時刻表

#### 往路

七日市場バス停から会場までは右図を参照して下さい。テープ誘導はありません。

乗車バス停	入間市駅	河辺駅北口	小作駅東口	河辺駅北口
行先	河辺駅北口	入間市駅	河辺駅北口	小作駅東口
バス会社	西武バス		西東京バス	
降車バス停	今井市民センター前		七日市場	
所要/運賃	23分/330円	11分/180円	10分/230円	14分/330円
8時	20	09	12 36	23 53
9時	14	16	04 34	17 43
10時	21	16	05 37	08 40
11時	50	10※ 44	33	11

途中止まりの時刻は記載していません。 ※原今井行き

#### 復路

バス会社は往路を参照下さい

乗車バス停	今井市民センター前		七日市場	
行先	入間市駅	河辺駅北口	小作駅東口	河辺駅北口
所要/運賃	29分/330円	16分/180円	14分/230円	18分/330円
13時	04 56	18	25	46
14時	32	04 29	27	44
15時		33	27	46
16時	16	53	28	28

途中止まりの時刻は記載していません。



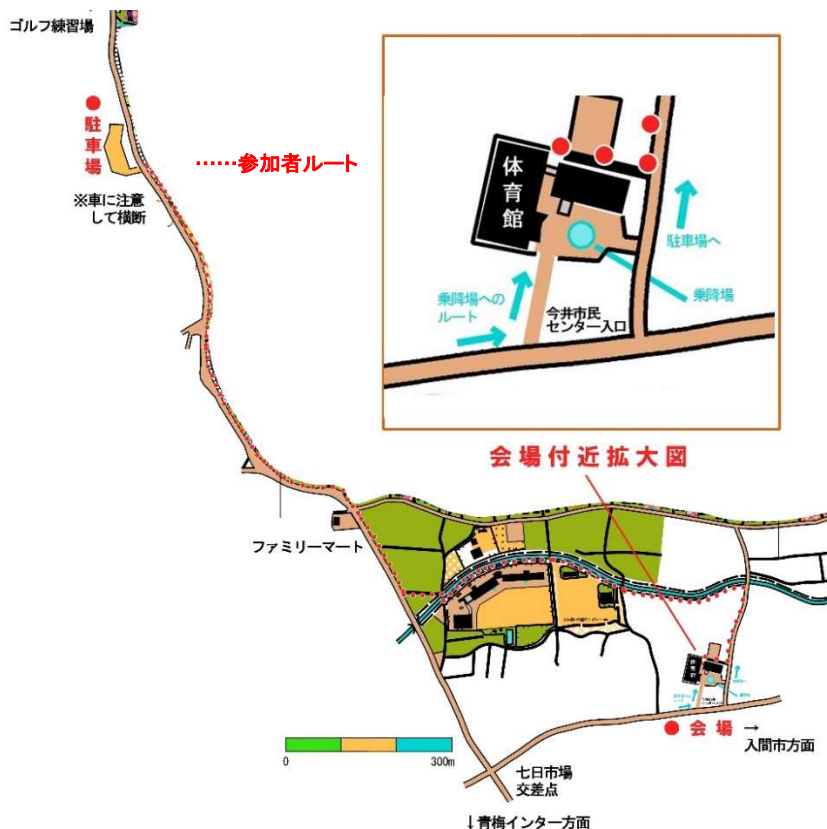
### JR金子駅から徒歩の場合

徒歩2.0km(約30分)、テープ誘導はありません。経路地図は下記リンク等を参照ください。

<https://maps.app.goo.gl/61vyjx9Z2roT5utu9>

### 自家用車の場合

- 駐車可能台数以上の駐車券申込があったため、当選された方のみ駐車場の利用が可能です。当選者のリストは大会ホームページに掲載しています。同ホームページから駐車券をプリントアウトし、ダッシュボードに掲示して下さい。駐車場から会場までは約2km徒歩約30分、テープ誘導はありません。下図の赤点線に沿って会場までお越しください。
- 直前申込の皆様はこの駐車場は利用できません。 小作駅・河辺駅など周辺の有料駐車場をご利用下さい。
- センターの駐車場は利用できません。会場の今井市民センター周囲の道路および付近住宅の生活道路に車を乗り入れないで下さい。但し、会場前で同乗者を降車させるのは認めます。周囲に迷惑をかけないよう十分な配慮をお願いします。



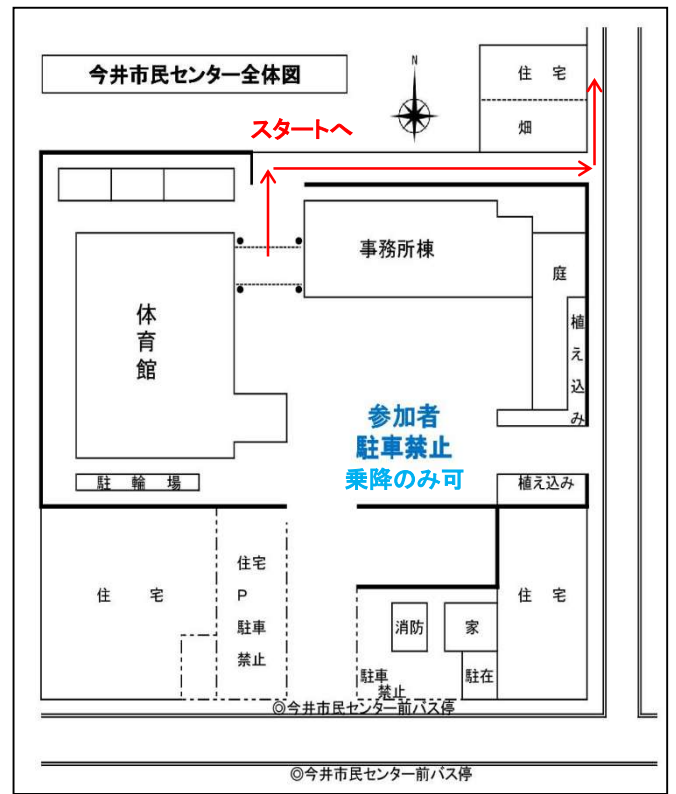
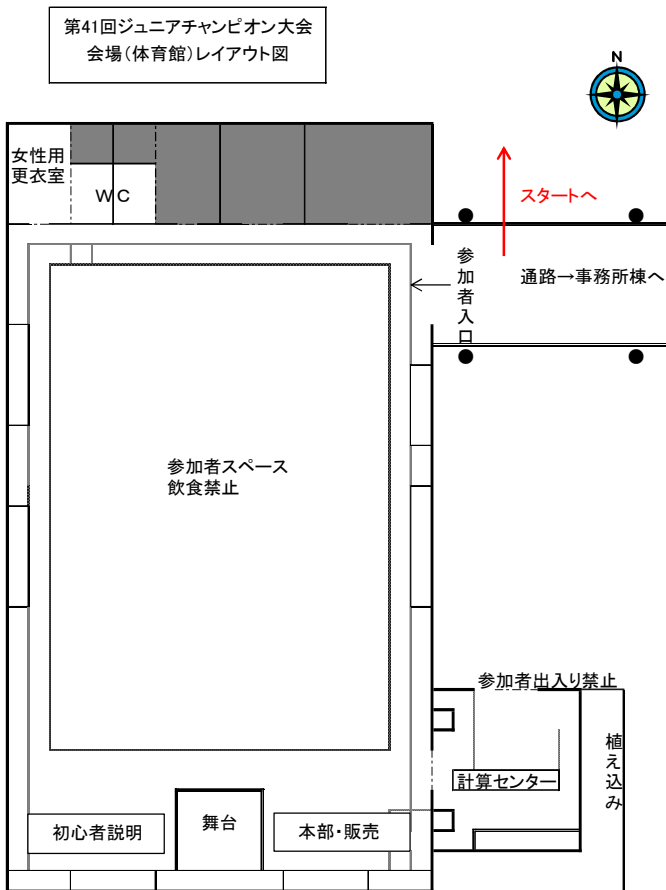
### 自転車、オートバイ利用の場合

今井市民センター敷地内の駐輪場に駐輪して下さい（今井市民センター全体図参照）。

## 会場案内

### 会場レイアウト

- 大会会場は青梅市今井市民センターの体育館です。開場は9：00です。
- 会場内の配置については会場レイアウト図（下図）をご覧ください。
- 体育館、事務所棟、駐車場、テレイン～会場間の往復、テレイン内すべて禁煙です。
- 体育館内では飲食できません。飲食は屋外か事務所棟1階の料理教室でお願いします。
- トイレは体育館内の他に事務所棟内1階と2階のトイレも利用可能です。
- 事務所棟は競技用シューズでの入館禁止です。汚れたシューズ/靴下で館内を汚さないよう配慮ください。
- 会場に公式掲示板が設けてあります。重要な競技情報、プログラム発行後の変更事項など大切な情報を随時掲示しますのでスタート前に必ずご覧ください。
- コンビニは、七日市場交差点から岩蔵街道を北西に520m行くと、ファミリーマートがあります。
- ごみは各自自宅までお持ち帰り下さい。地域のごみ箱や駅など途中での投棄は絶対にしないようにして下さい。体育館を退去する際はご自分の周囲のごみを片付け、きれいにしてお帰りましょう。



## 受付(事前申込者)

- 受付後、本部横の配布所にて、ナンバーカード、Eカード(レンタルの場合)、誘導地図等の入った袋をご自身でピックアップしてください。クラス別、出走時刻順に箱に入れてあります。
- 申込に不備のあった方には「お知らせ」の紙を入れてあります。「お知らせ」を持参の上、本部までお越し下さい。
- 配布所では、ご自身のものだけをお持ちください。残った袋を欠席確認に使うことがありますので、欠席者の袋は持って行かないようにお願いします。
- ご自分のEカードを忘れた場合、Eカードに不具合があった場合は、ナンバーカードを持参のうえ本部へお越し下さい。Eカードレンタル料300円が必要です。
- レンタルEカードを紛失・破損した場合は実費を頂きます。高価なものですので、紛失しない様にご注意下さい。簡便なEカード紛失防止器具を用意しており、希望者には無償で貸し出します。本部までお越し下さい。
- 若干の貸出用コンパスを用意します。競技終了後本部に返却して下さい。保証金は不要ですが、紛失・破損した場合は弁償金として3,000円をいただきます。
- 本大会では代走はできません。無断代走は厳禁とします。

## 新歓用クラス申込者の受付

- 本部で代表者が参加費をお支払い下さい。Eカード(レンタルの場合)とナンバーカード、メンバー表(提出用)、誘導地図をお渡しします。
- 受付は、11時までにお願いします。

## 直前申込クラス・市民クラス(当日)申込者の受付

- 本部で参加費をお支払い下さい。Eカード、ナンバーカード等をお渡しします。参加費は市民(CN)クラス500円、OA・OBクラス4,000円、ONクラス2,300円です。Eカードをレンタルする場合、+300円を頂きます。
- 直前申込クラスの参加には、**事前予約**が必要です。

事前予約方法：[tamajc@googlegroups.com](mailto:tamajc@googlegroups.com) 宛にメールで下記の情報をお送り下さい。

希望クラス・氏名・ふりがな・性別・年齢・生年月日・所属クラブ・住所・連絡先電話番号・

E-カードレンタルの有無（マイカードの場合はカード番号）

受けましたら当方より確認メールを返信いたします。

4月17日（水）21時必着でお送り下さい。

## 初心者説明

- コロナ禍でしばらく控えてきた初心者説明コーナーを、今回再開します。オリエンテーリング経験が浅い方は、コンパスとE-カードを持参の上、必ず体育館内の初心者説明コーナーで競技方法の説明を受けて下さい。

## 競技に関する情報

### 競技形式

- 個人のポイントオリエンテーリング（ミドル～ロングディスタンス競技）
- 日本オリエンテーリング協会の定める「日本オリエンテーリング競技規則」に準拠
- 計時方式は全クラス、EMIT社の電子パンチングシステム（E-カード）を使用

### 地 図

- 使用地図 「七国峠2024」  
「七国峠2023」の地図を2024年1～3月に修正調査
- 縮尺 1：10,000または1:7,500 コース情報一覧をご参照下さい。
- 等高線間隔 5m
- 国際オリエンテーリング地図図式（ISOM2017-2）に準拠
- 地図サイズ：B4横、ビニール袋封入済み（ポリエチレン製 0.08mm厚）
- 会場内に11:00まで旧マップを掲示します。会場内に過去の「七国峠」の地図を持ち込むことを禁止します。

● 特殊な地図の記号

ISOM2017-2 準拠	
×	ほこら/石碑/看板 Small Shrine/Stone Monument/Signboard
+	墓・墓地（立入禁止） Grave/Graveyard (out of bounds)
---	植生界・樹列 Distinct vegetation boundary/Tree row

### コントロール位置説明

- ISCD 2018に準拠。ただし、すべてのN（初心者）クラス、M10/W10クラスは日本語を併記してあります。
- コントロール位置説明表はスタート地区で配布します。最大寸法は、およそ70mm×175mm程度です。コントロール位置説明は地図上にも印刷されています。

### 最大競技時間

- 競技者の安全のため、競技時間は最大で150分（2時間半）とします。**150分を超えた場合失格となります。**失格者は順位は表示されません。
- スタート後150分以内にフィニッシュを通過できるよう、タイムオーバーが予想される場合は競技の途中であっても速やかにフィニッシュに向かって下さい。
- 新歓クラスの競技時間は70分です。

## コース情報一覧

カテゴリ	男子	距離(km)	登距離(m)	優勝設定(分)	縮尺	女子	距離(km)	登距離(m)	優勝設定(分)	縮尺
ジュニア	JME	4.4	260	45	1:10,000	JWE	3.5	210	50	1:10,000
	M18	4.0	190	55	1:10,000	W18	3.0	155	40	1:10,000
	M18N	2.5	70	25	1:7,500					
	M15	2.8	100	30	1:10,000	W15	2.8	100	30	1:10,000
	M15N	2.5	70	25	1:7,500					
	M12	2.4	90	25	1:7,500	W12	2.4	90	35	1:7,500
	M10	2.5	70	30	1:7,500					
一般	M21A1	5.3	295	60	1:10,000	W21A	4.3	265	60	1:10,000
	M21A2	5.3	295	60	1:10,000					
	M21AS	4.3	265	60	1:10,000	W21AS	3.5	225	55	1:10,000
	M35A	4.3	265	60	1:10,000	W35A	3.5	225	50	1:10,000
	M50A	3.5	225	50	1:10,000	W50A	3.1	170	60	1:10,000
	M65A	3.1	170	50	1:10,000	W65A	1.9	115	35	1:7,500
	M75A	1.9	115	35	1:7,500	W75A	1.9	115	40	1:7,500
	M85A	1.9	110	40	1:7,500	W85A	1.9	110	45	1:7,500
	MB	2.4	90	30	1:7,500	WB	2.4	90	30	1:7,500
	MN	2.5	70	25	1:7,500	WN	2.5	70	25	1:7,500
グループ	GN	2.5	70	25	1:7,500					
直前申込	OA	4.3	265	60	1:10,000	難易度:上級				
	OB	2.4	90	30	1:7,500	難易度:中級				
	ON	2.5	70	25	1:7,500	難易度:初級				
	CN	2.5	70	25	1:7,500	難易度:初級、対象:青梅市・飯能市民				

・優勝設定時間など競技に関する情報が変更になる場合、当日公式掲示板で告知します。

## 競技規則逸脱事項

- 地図の縮尺 ミドル～ロング・ディスタンス競技ですが、1:10,000と1:7,500を使用します。
- スタート間隔 ロングのEクラスは最小で2分と規定されていますが異なるクラスもあります。
- 給水所 2箇所用意しますが規程よりもやや少なめです。

## 服装と用具に関する注意

- 今大会はナンバーカードを使用します（胸に1枚）。4本の安全ピンでしっかりと胸に固定して下さい。1本や2本のピンでの取り付けはご遠慮ください。また一番外側の競技用ウェアに装着し、競技中はいつでも外からよく見えるようにしてください。各自で安全ピン等を4本以上ご準備下さい。 忘れた方は会場内本部脇に予備がありますので各自でお持ち下さい。
- 金属ピンの付いた靴の使用は差し支えありません。
- 服装について特に制約はありませんが、肌の露出しない長袖長ズボン、濡れても冷えない合成繊維のシャツなどを推奨します。

## トレインおよびコースプロフィール

東京近郊では数少ない本格的な里山トレインで、東西に伸びる大きな尾根・沢は、枝尾根・沢が複雑に入り組んでおり、尾根線・沢線には小道が多く発達しています。急峻な斜面は滑りやすく、雨天時には特に注意が必要です。

上級者コースは細かな地図読みが求められる区間・道走りでスピードの上がる区間・登坂力が求められる区間が織り交ぜられています。中級者コースは道を辿りながらチェックポイントを確認して、道上から見えないコントロールにも正確にアタックすることが求められます。初級者コースは道の分岐や道と水系との関係を捉えながら道を辿ることが求められます。

●トレイン内の太陽光発電施設及び、隣接する造成地は通行・立入禁止です。

なお、中央部の道は通行できます。



●トレイン内のその他の立入禁止の看板や柵

トレイン内には、車両の通行禁止やゴミ投棄の防止のために「立入禁止」の看板や柵が設置されている場所がありますが、競技者は通行できます。看板や柵をよけて通行してください。※地図には柵等は表示されていません。



### 競技上の注意事項

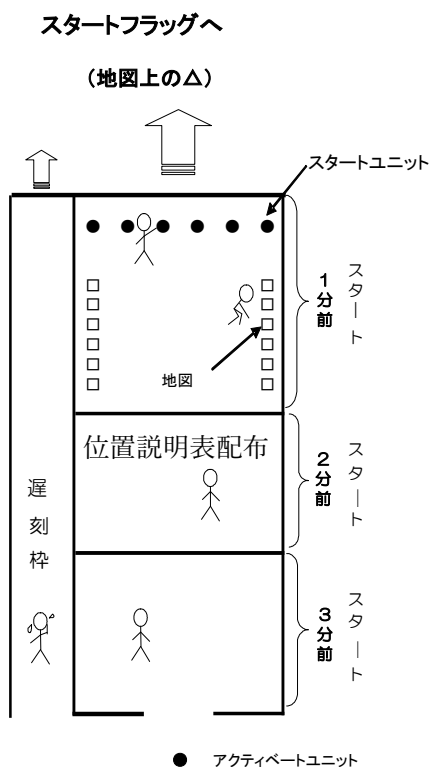
- 途中で棄権する場合も、必ずE-カードをなんらかの方法でフィニッシュまたは本部へ提出して下さい。絶対に無断で帰宅しないで下さい。無断で帰宅すると行方不明者として捜索の対象となります。
- トレイン内に他人のE-カードが落ちていても拾わないで、目立つようにしておいて下さい。
- 救護が必要な場合は会場に対応します。
- トレイン内には立入禁止のエリアがあります。地図上ではパープルのクロスハッチで表記してあります。現地はテープで囲まれていません。立入禁止区域には立ち入らないで下さい。民家の敷地、耕作地も立入禁止です。立ち入りが判明した競技者は失格とします。
- トレイン内には一般のハイカーやマウンテンバイクの愛好家がいらっしゃいます。接触には十分気を付けて下さい。
- トレイン内には黒黄色ロープ（トラロープ）が張ってある箇所がありますが、これはオートバイ等の進入防止の為に、本大会の参加者の通行（通過）を妨げるものではありません。

- スタート地区の近くに給水所を設けます。コース途中で給水所が2箇所あります。すべてのクラスで給水所を通過または近くを通るとは限りません。暑さも予想されますので、十分給水してからスタートに向かってください。
- 会場からスタートへの往路、フィニッシュからの帰路に、交通量の多い道路を通行します。歩道がある場所では必ず歩道を通行し、車両に十分注意して下さい。住宅街では、道幅が狭いので、横に広がらないようにして下さい。
- 傷病者の救助はすべてに優先されます。
- スタート地区でのウインドブレーカー等の輸送サービスはありません。
- 何らかのトラブルがあった場合は速やかに巡回中の役員、スタート・フィニッシュ・会場などの役員にお知らせ下さい。

## 競技の流れ

### スタートへ

- ナンバーカードの装着、E-カード、コンパス、時計を忘れずに。
- 会場から出るところで、ナンバーカード装着、E-カードの動作チェックを行います。
- 会場からスタート地区までは、途中までは配布地図による誘導、その先は黄色テープにより誘導します。所要時間は約35分(約1.9キロ)です。車の通る道路を通行します。安全に十分注意して下さい。
- スタート地区にウォーミングアップができる場所はありません。スタート地区までの間で車に注意して行って下さい。
- スタート地区の近くに給水所を設けます。



### スタート地区

- スタート枠に入る前に、アクティベートユニットに E-カードをセットし、ユニットのランプが点滅することを確認して下さい。万一ランプが点滅しない場合、点滅が弱い場合、点灯のままの場合など異常が感じられるときは速やかに役員に申し出て下さい。予備の E-カードをお渡しします。
- 時刻表示が自分のスタート時刻の3分前(時計は実際の時刻を表示しています)になりましたらスタートゲートに進み、役員に E-カードを提示してチェックを受けてからゲートに入って下さい。名前の呼出しはしません。
- 次のブザーで1つ前の2分前枠に進んで下さい。ここで希望者は各自で位置説明表をお取り下さい。地図に位置説明は印刷されています
- 次のブザーでさらに1つ前の1分前枠に進み、自分のクラスの地図を1枚取って下さい。他のクラスの地図を取ると失格になるので十分注意して下さい。この時点ではまだ地図は見ないで下さい。スタート枠最前列のスタートユニットの前に進んで下さい。どのスタートユニットを使用しても構いません。

### スタート

- スタート 10秒前のブザーで、E-カードをスタートユニットにはめて下さい。
- スタートのブザーと同時に E-カードをユニットから離し、スタート！
- E-カードをユニットから離すと同時に計時が始まります(リフトアップスタート方式)。
- スタート後、地図上の△までは赤白の誘導テープに従って下さい。誘導テープの終りにあるフラッグが



地図上の△です。

- スタート時刻に遅れた競技者は、遅刻枠の役員に申し出て、その指示に従って下さい。タイムは正規のスタート指定時刻より計測し、正規タイムとして扱います。
- スタート閉鎖は 12:30 とし、閉鎖後のスタートは認めません。12:30 以降は新歓クラスのスタートを開始します。

## 競 技

- コントロールに到着したらコントロール番号を確認の上、E-カードをユニットにセットして下さい。
- 間違ったコントロールにセットした場合はそのまま次に正しいコントロールにセットすれば OK です。
- 機材の不調で電子的なデータを取得できない場合は、バックアップラベルで完走判定をします。
- バックアップラベルを紛失しても失格にはなりません。上記の判定が不可能なため失格になる場合があります。

## フィニッシュおよびE-カードの読取り

- 最終コントロールからフィニッシュまでは赤白色の誘導テープに従って下さい。
- パンチングフィニッシュです。フィニッシュでユニットにE-カードをセットした時刻がフィニッシュ時刻となります。フィニッシュにある複数のユニットのどれにセットしても OK です。
- 競技中にE-カードを紛失した場合には、フィニッシュの係員に申し出て下さい。
- フィニッシュは 15:00 に閉鎖し、以後の計時は行いません。同時にコントロールフラッグの撤収を開始します。すべての競技者は 15:00 までにフィニッシュを通過して下さい。競技途中の競技者も 15:00 のフィニッシュ閉鎖に間に合わないと判断した場合は直ちに競技を中止しフィニッシュに向かって下さい。
- E-カードの読取りはフィニッシュの近くに設けた読取所で行います。読取所を通らずに帰宅すると行方不明者扱いになりますので不通過は厳禁です。万が一、棄権してフィニッシュを通過しない場合は速やかに本部にその旨を申告して下さい。
- フィニッシュ後は役員の指示に従って読取所にお進みください。読取所から会場までは、読取所で配布する地図を参照して移動して下さい。会場までの距離は約 2km です。
- フィニッシュ／読取所では地図の回収を行いません。誘導路上および会場では地図を内側に折り、未出走者の目に触れないよう配慮をお願いします。特に、競技後に新歓クラスに参加する上級生の方は、スタート地区での地図の取り扱いにご注意ください。
- レンタルE-カードは読取所で回収します。なお、計時トラブルがあった場合、個人所有のE-カードを一時お預かりすることがあります。この場合、E-カードは会場の本部でお返しします。
- 読取所の近くに給水所を設けます。
- すべてのクレームは本部備え付けの専用用紙でのみ受け付けます。回答は公式掲示板に掲示します。

## 調査依頼と提訴

- 競技に関して疑義が生じたときの調査依頼は本部備え付けの所定の用紙で本部に提出してください。
- 調査依頼に対する回答が不服の場合、提訴することができます。回答が出されてから原則 15 分以内に本部備え付けの用紙で提出してください。

## 裁定委員

- 大会会場の公式掲示板に表示します。

## 成 績

- 会場での速報掲示は行いません。「Lap Center」でご確認下さい。会場に QR コードを掲示します。

<https://mulka2.com/lapcenter/index.jsp>

●成績表、ラップ解析結果は大会ホームページで公開します。

本大会では成績処理のアプリケーションに的場洋輔氏作成の Mulka 2 を使用しています。

詳しくは、<http://www2s.biglobe.ne.jp/~matoba/public/olk/index.htm>

## 表彰

13:30頃から JME は10位まで、その他のジュニアクラスは3位まで表彰いたします。参加者全員で栄誉を称えましょう。一般クラスおよび新歓クラスの表彰は行いませんが、一般クラスの上位3位まで本部にて賞品をお渡しします。JME、JWE の優勝者には長佐古杯が授与されます。

## 販売地図・欠席者地図

申込時にご注文いただいた方のみ、12時半頃から本部受付にてお渡しします。当日の販売は行いません。

欠席者地図のお渡しは13時頃の開始を予定しています。同じクラブの方、引き取りをお願いします（当日限り）。

## 写真撮影について

主催者が、競技中も撮影をいたします。あらかじめご承知の上、ご参加下さい。これらの写真・映像を、報告書や今後の広報活動に使用する場合があります。

## 緊急対応事項

●大会中止について 荒天等により、参加者の安全を確保できないと判断した場合、大会を中止します。

この場合、参加費の返金はありませんのでご了承下さい。

大会を中止する場合は、多摩オリエンテーリングクラブのホームページ <http://www.orienteeing.com/~tama> で午前6時頃までにご案内します。

●けが等の責任・処置 参加者の不注意または故意によって生じたケガ、または第三者に与えた損害は参加者の責任となりますので、十分注意して行動されるようお願いいたします。健康保険証をご持参下さい。主催者は会場で応急処置をいたしますが、それ以上の処置はできません。主催者側でスポーツ傷害保険に加入しています。

●体調不良時の棄権 体調が思わしくないときの出走はやめましょう。具合が悪くなった場合はレースの途中でもやめる勇気をもって下さい。

●問合せ先 E-mail : [tamajc@googlegroups.com](mailto:tamajc@googlegroups.com) 可能な限り E-mail をご利用下さい。

電話：月～金 18:00～21:00 0422-31-2731(浅沼)

前日・当日 090-1257-9785 (浅沼) まで。応答できない場合もありますのでご了承下さい。

## 大会役員

大会会長 菅原 琢 (多摩オリエンテーリングクラブ会長)

実行委員長 平木 達也

競技責任者 三野 隆志

コースプランナー 三森 弘満

イベントアドバイザー 高橋 厚

渉外 児玉 拓

地図作図・編集 浅沼 英博

地図修正調査 児玉 拓 山田 一善

プログラム編集 平木 達也

運営役員 (上記以外) 荒井正敏 石神孝樹 宇野明子 宇野浩一 梅林正治 大町宏志 加藤昭次

菊澤恵三 島田 修 鈴木清美 鈴木恒久 鈴木規弘 鈴木博実 友田賢吾 藤平正敏 松山雅彦

三宅 互 安原佳祐 Vetter Joerg Tachiana Savchenko

高村卓 (上尾OLC) 高村陽子 (上尾OLC) 仁多見剛 (埼玉県協会) 鈴木茜

## 歴代ジュニアチャンピオン一覧

大会	開催日	地図名	JME 優勝者		JWE 優勝者	
第1回	1978. 4. 2	美根	村越 真	(トータス)	長田 由紀	(東京OL)
第2回	1980. 4. 2	物見塚	宮川 達哉	(早大学院)	松井 忍	(江北高)
第3回	1983. 4. 24	狭山嶺	井上 浩之	(浦和高)	佐藤 恵美	(水戸OL)
第4回	1986. 9. 28	塩船観音	大江 桜麻	(桐朋高)	田島 利佳	(南高麗中)
第5回	1987. 10. 11	青梅坂	鹿島田 浩二	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第6回	1988. 10. 2	塩船観音	永田 芳樹	(桐朋高)	田島 利佳	(みちの会)
第7回	1989. 10. 1	滝山城趾	一瀬 建日	(麻布学園)	志村 聡子	(川和高)
第8回	1991. 1. 20	霞丘陵	諏訪 高典	(麻布学園)	中込 裕子	(国分寺高)
第9回	1992. 1. 19	狭山嶺II	加藤 裕	(東農大三高)	金木 愛加	(梅田OLC)
第10回	1993. 1. 17	滝山城趾II	石澤 俊崇	(早稲田実業)	酒井 さつき	(オオムラサキ)
第11回	1994. 1. 23	草花丘陵	榎本 和弘	(麻布学園)	酒井 さつき	(練馬区)
第12回	1995. 1. 03	小金井公園	稲田 丈朗	(麻布学園)	石川 綾	(桃山高校)
第13回	1996. 1. 21	七国峠	稲田 丈朗	(麻布学園)	高橋 ひとみ	(東京高専)
第14回	1997. 1. 19	狭山嶺 ver4	玉置 俊光	(桐朋学園)	達富 睦	(亀岡OC)
第15回	1998. 1. 18	草花丘陵	積雪により中止			
第16回	1999. 1. 24	滝山城趾	纒坂 尚	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(新宿高校陸上部)
第17回	2000. 1. 23	今井城趾	山田 高志	(桐朋学園)	参加者なし	
第18回	2001. 1. 21	今井城趾	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 信枝	(小平OLK)
第19回	2002. 1. 20	平井	山田 高志	(桐朋学園)	渡邊 久美	(実践学園高)
第20回	2003. 1. 19	今井城趾	柴本 浩児	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第21回	2004. 1. 18	滝山城趾	斉藤 翔太	(桐朋IK)	渡邊 久美	(実践学園高)
第22回	2005. 1. 23	平井 2005	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第23回	2006. 1. 22	滝山城趾 2006	宇野 夏樹	(武相OLK)	高野 美春	(入間市OLC)
第24回	2007. 1. 21	日和田山 2007	宇野 夏樹	(武相OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第25回	2008. 1. 20	七国峠 2008	山崎 純	(桐朋IK)	藤田 雲母	(岐阜OLC)
第26回	2009. 1. 18	滝山城趾 2009	尾崎 弘和	(麻布学園OLK)	宮川 早穂	(ES関東C)
第27回	2010. 1. 24	七国峠 2010	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第28回	2011. 1. 23	平井 2011	深田 恒	(東海高校)	宮川 早穂	(ES関東C)
第29回	2012. 1. 22	七国峠 2012	角田 貴大	(東海高校)	参加者なし	
第30回	2013. 1. 20	滝山城趾 2013	角田 貴大	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第31回	2014. 1. 19	七国峠 2014	稲森 剛	(東海高校)	山岸 夏希	(公文国際学園)
第32回	2015. 1. 18	平井 2015	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第33回	2016. 1. 24	滝山城趾 2016	大石 洋輔	(桐朋IK)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第34回	2017. 1. 22	七国峠 2017	折橋 旺	(麻布学園)	宮本 和奏	(京葉OLクラブ)
第35回	2018. 1. 21	平井 2018	森清 星也	(東海高校)	吉田 菜々子	(都立戸山高校)
第36回	2019. 1. 20	七国峠 2019	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	落合 英那	(OLCルーパー)
第37回	2020. 2. 2	滝山城趾	福室 凜	(麻布学園OLK)	落合 英那	(OLCルーパー)
第38回	2021. 4. 18	七国峠 2021	寺嶋 謙一郎	(ES関東C)	完走者なし	
第39回	2022. 4. 17	七国峠 2022	梶本 和	(県立千葉高校)	山本 美沙	(渋谷で走る会)
第40回	2023. 4. 16	七国峠 2023	小林 透哉	(麻布高校)	石井 柚花	(OLP兵庫)
第41回	2024. 4. 21	七国峠 2024	?		?	

## 長佐古杯について

オリエンティアとして非凡な才能を持ちながら1984年7月に22才の若さで他界した長佐古哲也君は、多摩OLが永遠の課題として持ち続けているジュニア育成の中から育った逸材でありました。第2回大会(1980)では実行委員長もつとめました。中学生で始めたOLは高校・大学と進むに従い着実にエリートランナーとして力をつけていました。しかし東京農工大在学中に発病し、8ヶ月余りの激しい闘病生活の末、ご両親・ご家族・友人・仲間等多くの人たちの願いもむなしく深い悲しみと多くの尽きせぬ思い出を残して突然去ってしまいました。

その訃報は多摩OL・東京農工大OLCほかたくさん仲間たちにとって信じられない事でした。哲也君は世田谷に生まれ、お父上の転勤について札幌、神戸と移り住み、世田谷用賀中・新宿高・東京農工大と進み、OLをこよなく愛しました。いつの時でも一生懸命生きた哲也君の鎮魂を願い、多摩OLジュニアチャンピオン大会に1991年の開催から長佐古杯を設けました。JMEとJWEに与えられるカップは、長佐古家よりOL発展のためにとご寄贈いただいたものを基金として運用、その賞に充当しております。多摩OLでは不世出のエリートランナー哲也君に続くオリエンティアの育成を念じ、質の高い大会を提供してまいります。

## 競技に関する一般的な注意事項

比較的初級者の割合が高いイベントですので、あらためて注意喚起いたします。熟読をお願いします。

また、保護者の方、新入生指導にあたる上級生の皆さん、指導を宜しく願いいたします。

### ●競技時間を超えての競技続行は認めておりません。

スタート後、本大会では150分を経過した場合、超過の可能性が高いと判断した場合は速やかにゴールに向かって下さい。これは参加者の義務です。

### ●一旦スタートしたら必ずフィニッシュおよび読取所を通過して下さい。

カードを読み取りませんと「行方不明者」扱いとなります。

カードを紛失した場合はフィニッシュおよび読取所でその旨を申告して下さい。無断帰宅は厳禁です。

### ●正しくE-カードを目覚めさせて下さい

会場およびスタート地区（枠入り前）でカードのアクティベート（始動）を必ず行って下さい。ユニットのランプが**数回・一定間隔**で点滅したことを必ず自分の目で確認し、不具合があったら役員に速やかに申告して下さい。

### ●正しくスタートして下さい

スタートでは係員の指示に従い、スタート10秒前にカードをユニットにセットし、**スタートの合図と同時に**ユニットからカードを離して下さい。

### ●タイム計時機器の不具合の可能性について

大会に使用する全ての機器は前日までに複数回のチェックをしておりますが、経年劣化もあり、直前の不調・競技中の不調で完走したことが電氣的に確認できない事例が散見されます。（個人所有のカードでも不具合発生が散見されます）

自衛策として、**バックアップラベルに打痕が確実に残るようパンチをして下さい**。電氣的にコントロールの通過が確認できない場合、バックアップラベルの打痕の有無で通過判定を行います。

●ラベルの脱落防止：ラベルを紛失すると打痕確認による救済ができませんので、競技中にラベルが脱落しないようラベルの端を小さく切ったビニールテープでとめる等の対策を推奨します。但し、補強が原因で打痕が確認できないと本末転倒ですので補強範囲には留意願います。

### ●正しくパンチ

コントロールに到着したらユニット番号を確認の上、バックアップラベル面を下側にして、カードをユニットと平行になるまで詰め込んで下さい。正しくセットするとユニットの突起物によりラベルに打痕が残ります。カードが斜めの状態ではラベルに打痕が残りません。（それほど強く押し込む必要はありません、**カードがユニットに対し平行になるまで倒す**、を意識して下さい） ※ユニットの構造は会場カード動作チェックを行う際に確認して下さい。

●カードを紛失しないために

カードを紛失した場合は失格となり、弁償金も発生します。心配な方はカードをゴム紐で手首に繋ぐ等の工夫をして下さい。



●カード

**表面**  
つるつとした面が表面です。

**裏面**  
小さな穴がたくさんあいているのが裏面です

**裏面にラベルをはめた状態**



●バックアップラベル

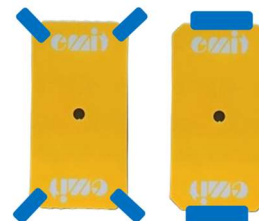
カードの裏面に挟み込みます。脱落しないように端をテープ等で止めると安心です。正しくユニットにセットすると1箇所につき1つの打痕(穴)が残ります。



打痕の例

●ラベル補強(脱落防止)例

テープを小さく切ってラベルの端に貼り付けます。※両面テープで強く固定するのは避けて下さい。



●ユニットへのセット方法

カードがかすかにユニットに接触する程度でも通常は電気的な記録が残りますが、機材不具合時の完走判定はバックアップ用のラベルで行いますのでラベルに打痕が残るようにカードをしっかりとセットして下さい。



●カードの裏面(ラベル側)を下側にして、②の部分ユニットの①の部分に斜めに押し当て、②を支点に③を下方向に押し下げます。

●番号確認をお忘れなく

地図の位置説明に表示されている番号と、ユニットに表示されている番号が一致していることを確認してからパンチして下さい。

3	33	○		○
4	34	↗	↘	Y
5	37	↗		┌
6	38	●		○
7	39	←	↗	↘

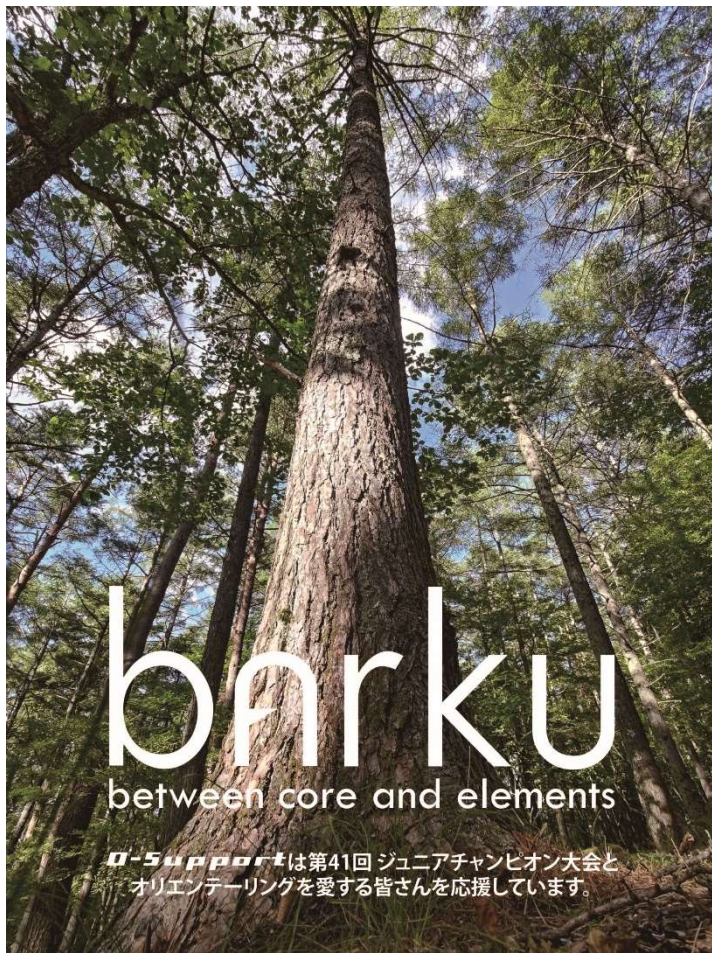
5番コントロールに着いたらユニットの番号が37であることを確認してからパンチ(カードをユニットにセット)

**OLG OKUMUSASHINO**  
(Orienteering Goods & Info)  
<http://www.OL-SHOP.COM>

OLG奥武蔵野は多摩ジュニアチャンピオン大会を応援します。  
それはオリエンテアとしての基本的な素養が形成される一番大事な年代だからです。  
フィンランドではクラブの大ベテランの選手がマンツーマンの指導をし  
16歳でエリートへの道がほぼ決まります。

日本の指導的オリエンテア集団多摩オリエンテリングクラブの大会を通して  
世界に羽ばたくジュニア選手が出るのを願望して微力ですが応援させていただきます。

OLG OKUMUSASHINOは、またオリエンテアのニーズに応えるべく  
世界中から新しいOL用品や情報を貪欲な好奇心を持って収集、皆さまに提供します。



# barku

between core and elements

O-Supportは第41回 ジュニアチャンピオン大会と  
オリエンテーリングを愛する皆さんを応援しています。

**O-Support**では2024年に新たに誕生した  
オリエンテーリングシューズブランド**Barku (バルク)**  
の取り扱いを開始します。

## CARBON TECHNOLOGY



フラッグシップモデル LUNAのソール前方2/3には  
カーボンプレートが配置されています。

カーボンプレートがエネルギーリターンと安定性を  
向上させ、ストライドを強化します。そして力を直に  
地面に伝え、金属ピンやラバースタッドが地面を深く  
掴み、グリップ力をより一層高めます。

さらに岩や枝から足を守り、未知の森を駆け抜ける  
防御力を高めます。

スピードを向上させ、革命的な体験をしたい  
オリエンティアにとって新たな選択肢となるでしょう!

## Upper

Nviiシューズでも好評だった破れにくい浸水しにくいSuperFabric®を採用。  
高い耐久性と安定性、ホールド感を提供します。

## Outsole

金属ピン付きシューズやラバースタッド(ピンなし)の2タイプがあり、  
トレインに合わせて選択できます。

非カーボンモデルのMIRA、幅広モデルのRAVENもラインナップ  
販売価格やサイズ等の詳細は**O-Support Web Shop**で  
逐次お知らせしていきますのでぜひご覧ください。

※フィンランドでの港湾ストライキのためメーカー納品が遅れております。  
日本での販売は5月以降を予定しております。



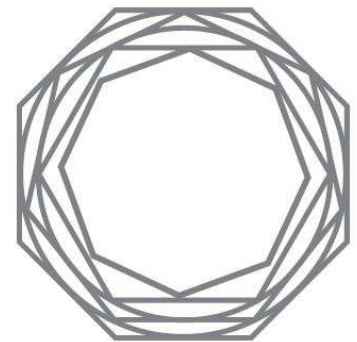
**O-Support  
Web  
Shop**



O-Ajariは世界にはばたく選手を  
応援します

**Road to Champion**

[www.o-ajari.com](http://www.o-ajari.com)



**O-Ajari**  
går på tur